

# 被災者の医療費免除の終了で

## 「通院に影響がある」



# 85.4%



2025 年 5～8 月にかけて「能登半島地震 医療の窓口負担免除に関する患者アンケート」を実施し、5 千件を超える回答をいただきました  
ご協力いただいた皆さま、ありがとうございました  
アンケート結果をご報告します

### 被災者の 医療費の窓口負担免除とは

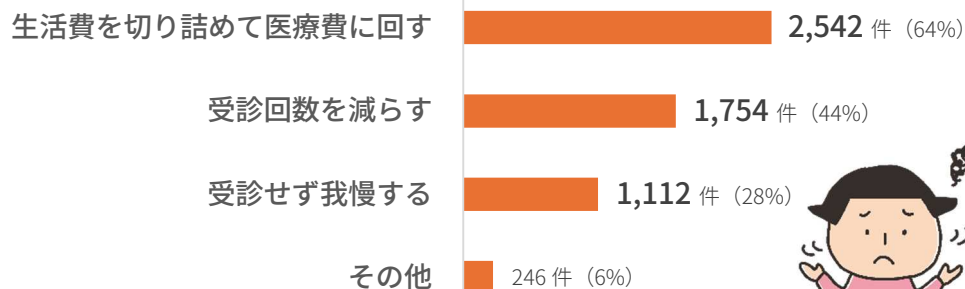
能登半島地震で半壊以上などの被害を受けた方には、医療費の窓口負担の支払いが免除されます。免除をいつまで実施するかは保険者が決定していますが、石川県内の国民健康保険（国保）と石川県後期高齢者医療広域連合は、財政負担などを理由に 6 月末で免除を終了しました。なお、富山県や福井県の国保・後期高齢者医療では 7 月以降も免除が継続されています。

	～2025 年 6 月末	2025 年 7 月 1 日～9 月末
協会けんぽ（全国健康保険協会）	免除実施	免除実施
石川県の市町国保 （野々市市・川北町以外）	免除実施	6 月末で終了
石川県後期高齢者医療広域連合	免除実施	6 月末で終了
富山県・福井県の市町国保 ※1	免除実施	免除実施
富山県・福井県 後期高齢者医療広域連合	免除実施	免除実施

※1 富山市、高岡市、氷見市、砺波市、小矢部市、射水市、福井市、あわら市、坂井市

※2 上記以外の一部の健保組合・国保組合等でも免除・猶予を実施している場合があります。

## 免除が終了した場合、どのような影響があるか



生活費を切り詰めることで、さらなる健康悪化や再建への負担が生じます  
また、受診したくてもできないと、**重症化の危険も...**

ひいては  
**災害関連死に**  
つながりかねない  
状況です

医師の声

## 免除の継続を求める意見が **860 件** !

自由意見欄では医療費の窓口負担の免除の継続を求める意見が最多となったほか、物価高騰や年金暮らしで生活が苦しいとの意見が 569 件ありました

食料品や建築・修繕費用の**近年の物価高騰**と、高齢化率が高く年金収入のみの住民が多い、移動のコスト（時間・費用）がよりかかるなどの、**能登地域特有の状況**が、被災者の再建をより困難にしていると考えられます



乳がんステージ4です。治療に費用がかかります。交通費と宿泊にも費用がかかるため毎月高額な出費です

地震の影響で解雇されました。自己負担になると親の施設の介護サービス利用料、自身の医療、通院や薬代が重くのしかかり施設退所や治療断念をするしかないかとも思います

地震と豪雨の二重被害で生活費が苦しいのに物価（特にお米）が高くて困る。この先どうすればいいのかわからない。生活がつらい

老後のための資金を使い果たし、お先「まっくら」です

住宅再建でお金が足りずに困っています。せめて医療費が免除になれば助かります

定期通院時の検査項目を減らす。通院回数を減らす。市販薬を内服して様子を見る。重症化してしまうのでは

## 再建はまだ道半ば 免除の継続が必要

東日本大震災において、宮城県では震災から約 2 年後に国保と後期高齢者医療において医療費の窓口負担の免除が終了しました  
しかしその後、被災者の声により**免除が復活**しています

再建は道半ばであり、いまだ被災者が困難な状況にあることに変わりありません。せめてお金の心配なく医療を受けられるよう、引き続き免除の実施が必要です

石川県保険医協会では、石川県内の国保・後期高齢者医療が免除を再開できるよう国や石川県へ財政支援を求めています



アンケートの  
最終報告の全文は  
こちらから



**石川県保険医協会**

石川県内の医師・歯科医師の団体です

〒920-0853 石川県金沢市本町 2-11-7 金沢フコク生命駅前ビル 7 階  
電話 076-222-5373 F A X 076-231-5156